



幌延町ゼロカーボンシティ宣言

— 2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指して—

近年、気候変動に起因する異常気象により、日本国内のみならず世界中で自然災害が多発しており、その規模も激甚化しています。

こうした気候変動は、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの増加による地球温暖化の進行が原因と考えられており、そのリスクは更に高まることが予測されています。

このことから、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「世界平均気温の上昇を工業化以前より1.5℃に抑えるためには、2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

我が国も、2020年10月に、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指す」ことを宣言しました。

こうした背景のなか、本町では風力発電による再生可能エネルギーの推進をはじめ、公共施設の省エネ化や電気自動車の導入などに取り組んでまいりました。

今後も地球環境に配慮した持続可能なまちづくりに取り組み、豊かな自然を次世代へ繋ぐため、町民や事業者の皆様と一体となって、2050年までに幌延町の二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

令和5年3月9日

幌延町長 野々村 仁